

防災・環境対策に論議

12月定例町議会
一般質問

防災行政無線

問 災害情報をいち早く伝えることは、防災の根幹である。町が防災対策として導入した防災行政無線戸別受信機の①現状は ②同一世帯内で

の複数設置はできないか ③屋外広報塔を増設する考えはないか

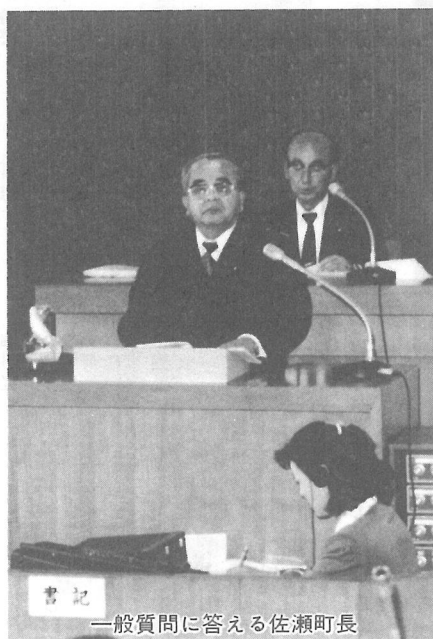
答 ①平成2年11月末日現在で二千九百十七台、設置率

は六十八・六五パーセントである。

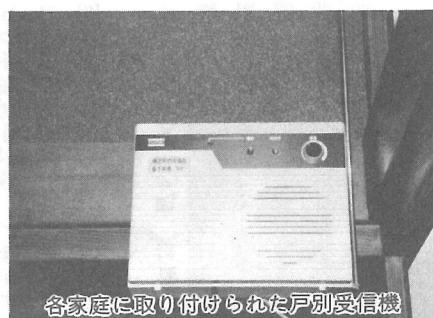
②設置率が示すとおり、町内の約3割の家庭が未設置の状況にあり、現在加入促進にあつてゐる。受信機は一台約四万円、加入者の負担金五千円以外は税金を充てて購入しており、一つの世帯に複数の

受信機を設置すると不公平が生ずる。現在のところ複数設置は考えていない。なお、個人的に無線機器メーカーから直接購入したいという人には、総務課を窓口として対処したい。

③津波対策として屋形地区に4か所屋外広報塔を設置している。しかし、風や雨が強い気象条件下では聞こえにくく、



書記 一般質問に答える佐瀬町長



各家庭に取り付けられた戸別受信機

他の市町村も戸別方式に切り替えている状況だ。町として、基本的には戸別受信機の整備促進を図っていききたい。

海外視察 研修制度

問 若い(町)職員が海外を見聞し、研究し、これからのまちづくりに生かせるような海外視察研修制度を導入できないか。

答 貴重な意見として受け止める。当町における海外研修は遅れているが、今後、県や郡町村会において十分協議しながら、制度づくりを要請していききたい。

海岸道路 の整備

問 連沼ウォータージェーデンから横芝海のこどもの国に至る都市計画街路の延伸計画はどの程度進んでいるか。完成の時期は。